

令和二年

神奈川県造園人 賀詞交換会開催



発行所
一般社団法人
神奈川県造園業協会
横浜市中区常盤町2-10
伸光ビル2階 〒231-0014
電話 (045) 662-8793
662-1767
FAX (045) 662-4381



<http://www.kanagawazoen.or.jp>

神奈川県内の造園・緑地整備に携わる業界人や行政関係者百七十四名が参加し「神奈川県造園人賀詞交換会」が一月十四日、ロイヤルホールヨコハマで開かれました。

冒頭、世話人を代表して小山神奈川県造園業協会会長の挨拶に続き、黒岩祐治神奈川県知事より祝辞が述べられ、続いて梅沢裕之神奈川県議会議長の祝辞に続き、持田文男神奈川県議会自民党みどりの会会長より力強い励ましの言葉を頂き、上前行男神奈川県土整備局長の乾杯の発声後懇談に移り、今年一年の期待と近況が語られ和やかに懇談が深まりました。

神奈川県知事

黒岩 祐治



神奈川県造園人の賀詞交換会がこのように盛大に開かれました。誠にありがとうございます。

日頃からこの神奈川県を花と緑で彩るためにご尽力いただいていることを、心から感謝申し上げます。

今朝ほど私は、暗いうちから臨港パークを走ってまいりました。この季節になると景色が微妙に変化するのを感じます。冬の景色と

なると全く色が無い状態になるのですが、よく目を凝らして見ますと、朝日を浴びながら、なんとなく赤みを出している梅の蕾を見ますと愛おしさを感じ、花と緑が人間の心を豊かに彩ってくれているんだと改めて実感した次第であります。

造園業界の皆様には、この都市公園を様々な形で特色のある素晴らしい公園にしたいと考えていることと、災害時には、人命を守る拠点として、災害協定を結んで頂いていることに感謝申し上げます。

今年はいよいよオリピック・パラリンピックの本番の年でありますが、神奈川県で開催されますサーリング競技会場江ノ島で

は、協会の皆様から橋を渡ったところから植栽をしないと世界中からお客様が集まるのにもつとれないとご指摘を頂きました。非常に重要なご指摘だったと思います。我々はどうしてもサーリング会場はつきりに目がいってしまつて、考えてみれば橋を渡つて何が目に飛び込んでくるかということを考えておかないと、世界中から皆様をお迎えし、おもてなすには何か足りないものがあると気づかせていただき、見事な形で植栽をしていただき感謝申し上げます。

そんな流れの中で、今年も素晴らしい年にしていきたいと思いますので、皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

皆様、三位一体ではないですけれども、目指すところ

神奈川県議会

議長 梅沢 裕之



明けましておめでとうございます。

日頃から都市緑化等、環境整備等非常にご尽力いただきまして、神奈川県のみどりというは皆様先導をきつて作っていただいているのかなと思います。

一昨年の11月に行政の皆様、そして造園業の皆様、みどりの会の皆様と一緒にサーリング会場を視察させていただきました。現場でいろんな意見交換が行われ、一つの一致点が見出され、発注ができたのです。本来であるならば発注者と受注者の関係でありましたけれども、同じ方向に向かうのは当然であり、同じ視点だねということを確認して先に進むということが、緑豊かな県土づくりに繋がるのかなと、その現場でつくづく思いました。

皆様、三位一体ではないですけれども、目指すところ

神奈川県議会

自民党みどりの会

会長 持田 文男



明けましておめでとうございます。

オリピックのサーリング会場である江ノ島のあの緑、これだけの綺麗な緑、話し合いの場が持たれました。皆様方に見て頂き、どういった樹木を植えたらいのか、昨年の4月から始まったことでもあります。根がしっかりと根付くか等、そういったところもしっかりと見ていただき、植栽、剪定をいただいたところで、あと子供たちに、昨年ではありますが、江ノ島に記念植樹をしていただきました。

そして、明治記念大磯邸園についても、何度となく見ていただき、昨年11月に役員さんとその関係の皆様、県庁の皆様と現場を見ていただきながら、この時代の庭にもう一度復元しようというところで、いろいろなアイデアを業界の皆様から頂いて、それを国の関係者の皆様、技術的助言という形で、今日ご提案をいただきました。この提案が、これから夏の庭の開放に向かつていくことだと思っておりますし、大磯は私達、神奈川の大きな宝であります。この宝を造園業界の皆様が育てていただき、行政の皆様方、また私達議会も協力させていただきますながら、是非外国の方々にも、この神奈川県を活用していただき、こんな思いであります。

皆様、三位一体ではないですけれども、目指すところ

神奈川県土整備局

局長 上前 行男



今年がオリパラの年でございまして。一層皆様方のご活躍をいただいて、素晴らしい神奈川県づくりに向けて皆様方のお力添えいただき、また私達議会も協力させていただきますながら、是非外国の方々にも、この神奈川県を活用していただき、こんな思いであります。

関係、造園に携わる方々、プロのご意見をいただきまして、行政だけでは絶対なしえない仕事を、皆様方のご意見、アドバイスをいただきながら良いものを神奈川県に遺していくことは、まさしく先生方がお話しされたとおりでございまして。そのご期待にこたえるように、県土整備局はしっかりとやっていきたいと私もお誓い申し上げたいと思っております。

皆様、三位一体ではないですけれども、目指すところ

それから、もう一点、昨年の9月、10月に大きな台風が参りました。特に台風15号は風の台風でございました。業界の皆様方には、短期間で倒木を取り除いていただき、そして県民の生活を戻していただき、この場をお借りして感謝申し上げます。

そして、今年はまだにオリピックの年になりません。我々力の足りない部分は、造園に携わる皆様方、県議会の先生の皆様方と一緒に頑張ってオリピックも成功させたいと思っておりますし、神奈川の緑を末永く奥深いものにしていきたく、ということで皆様方のお力を賜れば幸いですと思っております。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

皆様、三位一体ではないですけれども、目指すところ

作庭塾庭守活動報告

情報委員 木下 透



左から川田氏、神之菌氏、渡部氏、大胡氏



既存垣の解体

例年行われている横浜マスタワー・大胡周一郎氏による旧川合玉堂別邸「二松庵」での講習会も今回で12回目となりました。二松庵は平成25年火災により主屋は焼失しましたが、平成28年に横浜市指定名勝の第1号になり、横浜市がこの庭園を所有し、月に1回程度一般公開しています。入口から主屋に至るアプローチや池泉、植栽、竹垣などは時間が止まったように残されており、大胡周一郎氏始め地域のボランティアによって維持管理されています。これまでも庭守では鉄砲垣、網代垣、穂垣、四つ目垣の改修の他、土橋や池泉石組み、滝の修復などに携わってきました。

今回は平成22年及び28年に改修した建仁寺垣が先の台風で損傷したのを受け再復旧することとなりました。二月二十三日(日)、庭守講師である神之菌文男氏、渡部定男氏、川田秀一氏に庭守メンバー13名を加え総勢17名が参加して作業が行われました。

講習会とは言っても庭守メンバーの多くは一〇年以上の在籍者ですので、誰に言われるでも無く自分の持ち場でテキパキと作業をこなしていました。作業後のミーティングで、暫く間が空いていることで忘れてしまっていることや、しっかりと習得出来ていない技術や、既存の解体を焦らず現状寸法を写しておくことなどを講師の方々に指摘され、各々反省すべき点を確認する良い機会にもなったと思います。



当初は2日掛けて行うはずの講習会でしたが前週が雨で中止となったため今回はこの日1日だけの作業で打ち切りとなり、シユロ縄結束を終わらせたので、仕上げは植周造園(株)さんに委ねることとなりました。

メンバーの中には最近入った数名もあり、1級技能検定に挑んでいる者などからは、「検定の時の課題である建仁寺垣ですが、試験の時と仕様も大きさも違い竹を割るのですら難しく、色々教えていただきとても勉強になりました。出来上がるとうやうや青い竹の垣根は格好良いなと思いました。今日やらせていただいたことを検定にも日々の仕事にも生かして行ければ良いなと思います。」などの感想が述べられていました。



●会員名簿の変更● (平成29年度名簿)

代表者変更

- 鶴見支部
株滝川園 (会員名簿P.23)
代表者 (旧) 瀧川隆雄 → (新) 瀧川佳広
- 横須賀支部
株緑研 (会員名簿P.51)
代表者 (旧) 能重昌代 → (新) 能重勝紀

住所変更

- 東北支部
株新緑造園土木 (会員名簿P.63)
新住所 〒242-0012大和市上和田1774-9
神栄マンション202号
TEL046-205-3725 FAX046-204-8625
- 株南植木 (株) (会員名簿P.63)
新住所 〒242-0006大和市南林間4-2-5-2
TEL046-276-9824 FAX046-278-1518
- 株緑建 (会員名簿P.64)
新住所 〒252-0029座間市入谷西1丁目2番16号
TEL046-256-5781 FAX046-253-6136
- 株都将 (会員名簿P.64)
新住所 〒252-0029座間市入谷西1丁目2番17号
TEL046-298-7477 FAX046-298-7478

事務局情報

(月間行事一覧)
●諸会議その他●

4/6 (月) ~ 16 (木)	造園技能検定申請受付
4/14 (火)	公園緑地部会 15:00 ~
4/16 (木)	指導員・検定員・補佐員合同会議 15:00 ~
5/8 (金)	総務・厚生委員会 15:00 ~
5/11 (月) ~ 13 (水)	労働保険事務組合年度更新
5/13 (水)	協会監査 14:00 ~ 協同組合監査 15:00 ~
5/14 (木)	協会三役会議 12:00 ~ 協会理事会 15:00 ~
5/15 (金)	協同組合三役会議 14:00 ~ 協同組合理事会 15:00 ~
5/29 (金)	協同組合総会 11:00 ~ 日造協神奈川県支部通常総会 13:30 ~ 協会総会 15:00 ~ かながわのみどりを創り、育てるつどい 17:30 ~

令和元年十一月二十四日(日) 神奈川県本庁舎前日本大通りに於いて、神奈川県及び(社)神奈川県建設業協会主催による「かながわ建設フェスタ in 日本大通り」開催

公園緑地部会副部長 北村善輝



き無償配布するなど、親子来場者から大変喜ばれ盛況のうちに終了しました。

公園緑地部会活動報告

令和元年度
校庭芝生化に係る
情報交換会

公園緑地部会副部長 北村善輝

十二月四日(水) 県立総合教育センター善行庁舎において、神奈川県教育委員会教育指導部保健体育課主催の校庭芝生化に係る情報交換会が、公立小・中・高等学校等の担当者を対象に行われた。公園緑地部会校庭芝生化プロジェクトチームも講師派遣依頼を受け、情報交換会に参加し、その中で「芝生プロジェクト」講演を行い、続いて「グループワーク」に参加し、維持管理等の指導を行った。

校庭芝生取材

情報委員会
委員長 犬山清史

県立大和東高等学校 芝生を通じて広がる 地域とのつながり

昨年7月に学生、職員、保護者らで植え付けられたティフトン芝は30cmほどに伸び、2月末現在、おおよそ一面を覆うまでに成長しています。駐輪場として利用されていた場所のため土壌の状態は決していいものではありませんでしたが、この夏には一面緑の芝が地面を覆い、様々な利用が期待されます。

植付け後の8月、雑草の繁茂がひどく先生方が手取りで除草をしてくださったのですが大変な作業となり、施工した業者も入り膝丈以上あった根が活着するのを待つて最



雑草を取り除くことになりました。雑草を抜き取ったため表面の凹凸が大きくなってしまい、9月には川砂を入れて不陸をとりました。灌水作業も手がかるため簡易スプリンクラーやホースを購入し、散水栓も増設して夏場は頻りに散水を行ったそうです。除草作業は適宜先生方が行っています。

県立岩戸養護学校

「未来の造園人は ここから生まれる？」

大和東高校より少し先に苗の植付けが行われた県立岩戸養護学校、「少し水がたまってしまふ場所があるのですが」と担当の先生はおっしゃいますが、ティフトン芝は順調に伸びて一面を覆うようになっています。生育が悪く地表が見えている場所もこの春以降に順調に芝が伸びてきれいになるのではと思います。グラウンド用スプリンクラーが届かない場所なのでホースを引っ張ってきて散水を行っているそうです。



「環境班」があつて学生さんが手押し芝刈り機を使って芝刈りを行ったというのですが、刈り取りもきれいに行われていました。植え付けの時、苗をポットから取り出してはテキパキと植えていく学生さんがいたのを思い出して、自分で植えた芝を育てて管理していく体験を持っていけば、いつでも我々の仲間に入っ

初の芝刈を予定しており、来年度には芝刈機を購入予定ということでした。すでに機械を保管する物置が用意され、エアレーション用ロンスバイクは購入済みということで学校が主体となった維持管理体制が着々と出来つつあります。

芝生化したことで地域のつながりも芽生えているそうです。芝生が根付き管理されれば、隣接する特別養護老人ホームの方々に開放し、利用してもらおうことを考えているそうです。また職業体験授業の一環で自分の学校の芝生だけだけでなく、近くの保育園に向き除草など芝生の管理を行っているとのこと。地域と学校をつなぐ架け橋として、芝生がすくすくと生長することを期待しています。

「環境班」があつて学生さんが手押し芝刈り機を使って芝刈りを行ったというのですが、刈り取りもきれいに行われていました。肥料や目土材料の購入費用はどうするのか、クローバーの勢いが強く除草剤は使えるのか、などなど。未来の造園人のためにも、芝生の維持管理はどう進めるべきか宿題が出されたような気がしました。

支部だより

名木・古木見学会に参加して

石井造園株式会社 佐藤 一将

二月十三日に戸塚支部による、中伊豆方面の名木や古木を見学する研修に参加した。当日は二月とは思えない朗らかな陽気で、カワヅザクラが咲き誇る中、6か所を巡り樹木をゆつくり観察してきた。



イロハカエデ

チイカシもあった。イチイカシは、四国や九州に分布しており、関東で見かけることは珍しい。神社に植栽されることが多く、奈良公園に多く見られるそうである。小学校の修学旅行で奈良公園に行った思い出はあるが、残念ながらイチイカシがあつたことは全く覚えていない。

最初に訪れたのは、伊豆市の青植神社。ここには静岡県指定天然記念物のシダレイロハカエデがある。樹齢は百四十〜百八十年と言われており、樹高は四・五m。この樹木は擁壁の上に立っており、そこから枝が枝垂れている。枝垂れの長さは七・七mもあり、参加者から「これは凄い、珍しいな」と驚きの声が上がっていた。杉の根本にはキノコが生えており、このキノコが今後どのような影響を与えていくのか心配である。境内には静岡県指定天然記念物のイ



日枝神社の杉

ノコが今後どのような影響を与えていくのか心配である。境内には静岡県指定天然記念物のイ

寄せ合うのは昆虫の世界でも共通のようである。その後、三島市の三嶋大社で三島市の保存木である推定樹齢五五〇年のモッコク、七五〇年のケヤキなどを見学した。モッコクはこんなにも大きくなるのだと思うくらい樹高が高く、仕立物の品の良さや真逆の荒々しさのようなものが感じられた。ケヤキは損傷が激しく痛々しい姿で、なにか処置をしてあげたい気持ちに駆られた。本殿の方へ向かうと国指定天然記念物のキンモクセイがある。この樹木は樹齢が千二百年というから驚きである。この樹木はウスギモクセイの穂木として日本有数のもので、三嶋大社の神木として大切に保存されている。根廻りは約三mあり、高さ一mのところまで分岐している。九月上旬に一度開花し、九月下旬に再び開花するそうである。淡黄色の可憐な花の甘い芳香は約八キロメートル先まで届いたと伝えられている。今回の研修は開花期ではなかったため、香りを嗅ぐことはできなかったが、どんな香りがするものなのか確かめに来たいと思う。

名木・古木には数百年の歴史があり、その雄大さや樹齢に際して変



三嶋大社のクス

化させることができる知識も養わなければならないと考えさせられる研修会だった。



三嶋大社金木犀



三嶋大社のキンモクセイの前で

造園技能士コースを終えて

令和元年度の「普通職業訓練短期過程造園技能士(1・2級)コースが修了した。

協会の会議室で修了式が2月22日(土)に行われ、1級3名、2級3名に修了証書が渡された。

受講生の声

1級受講生 上野裕昭
令和元年度造園技能士

コースの受講にあたり、講師の諸先生ならびに造園業協会の関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。「造園施工必携」を基礎に造園に関する知識・技術について学ぶとともに各講師の豊かな経験談も交え実践的、実地的なご教示をいただき「腹に落ちる」ことが多く、得がたい機会となりました。

1級受講生 川口幸治
今回、造園技能士コースを受講して、改めて用語や手法等の基本が大事であることが確認できました。また、先生方の合間にテキスト以外のおはなしが具体的に興味を惹かれるものでした。今後、造園業に勤しむ

1級受講生 小萩哲央
造園1級技能士コースを受講させて頂き、先生方々ありがとうございます。日々作業に追われなかなか理論を勉強する事が、後回しになり、悩んでおりましたが、今回造園学科を勉

2級受講生 泉大志郎
この度は、造園技能士コースを受講させて頂いたばかりありがとうございます。私はまだ高校生ですが、特別に受講させて頂き、造園のことを全く知らない私に多くの先生方が分かりやすく教えてくれたおかげで造園のことについて少し

2級受講生 津久井裕太
この度は「造園技能士コース」を受講させて頂きありがとうございます。お世話になりました講師の先生方事務局の皆様本当にありがとうございます。

2級受講生 箕浦 亨
この度は造園技能士コースを受講させて頂きありがとうございます。造園の知識が浅い所があったので、先生方の教えがとても理解しやすく、とても勉強になりました。先生方から教えて頂いた知識を万事で活かせると思います。先生方の経験談をもとに日常業務の際にも手本としてプラス思考で仕事にいかしたいと思えます。時間がすぎるのが早くあつという間に102時間の講習が終わってしまいました。有意義な時間を頂けたかと思えます。今回の講習で学んだ事を今後の自分の仕事に活かせたらと思います。事務局の皆様、講師の先生方とても貴重で有意義な時間を有難うございました。

りました。緑化環境創造・向上のための取組みは、ますますその重要性を増すとの認識の上に立ち、今後とも精進して参りたいと思えます。深謝

うで、ひとまわり大きく成長できるきっかけとなつたと思います。最後にになりましたが、長時間に渡って講習を受講させて頂きありがとうございます。

強させて頂き、解らない事も教えて頂いたので、今後の仕事に活かしていきます。教科書も今後愛読書として大切にしていきたいです。

ですが知識がついたと思います。また、これから就職する私に対し、仕事に対しての向き合い方などのたくさんアドバイスをもらえて仕事をすることが楽しみになってきました。講師の先生方、造園業協会の皆様大変お世話になりました。本当にありがとうございます。

造園技能士コースを終えて



内藤委員長 挨拶



1級修了証交付



2級修了証交付



高校3年生 がんばったで賞授与



神奈川県職業能力開発協会会長賞授与



(一社)神奈川県造園業協会会長賞授与



神奈川県職業能力開発協会 宮代委員長 挨拶



修了生答辞



富田講師より訓練総評



講師及び修了生

目指せ！造園技能士

毎年夏に行われる造園技能士の講習会、検定試験については会報の第265号でもお伝えしましたが、今年も4月から申請受付が始まるのに先駆けて情報委員会ではこの検定試験についての特集を企画しました。

「技能検定とは？」

技能検定は「働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度」です。技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。昭和34年に実施されて以来、造園技能士を含み都道府県職業能力開発協会が実施する職種は平成31年4月現在、111職種あります。技能検定は、厚生労働省が定めた実施計画に基づいて、試験問題等の作成については中央職業能力開発協会が、試験の実施については各都道府県がそれぞれ行うこととされています。受験申請書の受付、試験実施等の業務は各都道府県職業能力開発協会が行っています。神奈川県においては申請書の受付は当協会でも行っています。

「造園技能士及び試験の内容」

造園技能士の資格は1級、2級、3級に分けられ、上級、中級、初級と位置づけられています。試験内容は左表のようになってい

	1級	2級	3級	備考		
合格証書	厚生労働大臣名	県知事名		※1		
受験資格	例(実務経験のみの場合)	7年	2年	0年(要実務経験)	※2	
	例(他級合格後の場合)	2級2年、3級4年	3級合格後0年			
	必要な能力			※3		
試験内容	学科試験		正誤法：25問、4肢択：25問	正誤法：30問		
	実技試験－製作等作業試験(課題作成)		標準3時間	標準2時間30分	標準2時間	※4
	実技試験－判断等試験(樹種名判定)		20問(10分)	15問(7分30秒)	10問(5分)	
	合否判定			※5		
	学科試験：65点以上と実技試験60点以上の両方					

※1：技能士章(バッジ)はいずれも厚生労働大臣から交付。 ※2：学歴(関連学科卒業)により0年～6年。
※3：出題範囲細目については厚生労働省ホームページ「試験基準」参照 ※4：打ち切り時間は標準時間+30分
※5：実技試験の割合は製作等作業8：判断等試験2

す。特に注意すべきは実技試験では実際に課題を作成する「製作等作業試験」と樹木の枝を見て樹木名を判定する「判断等試験」に分けられ、さらに学科試験を加えた全てに合格しなければならぬことです。

「合格率は？」

前年度分の試験問題・解答は、中央職業能力開発協会の技能検定試験問題公開サイト <https://www.kenteijavada.or.jp/>にて公開されていますので参考にしてみてください。今年度分の実技試験課題については5月末に受験申請者に公表される予定です。

「検定の仕組みと合否判定」

検定には当協会から選任された10名の指導員、10名の補佐員、及び当協会の推薦を受けて神奈川県職業能力開発協会が非常勤職員として選任した10名の技能検定委員が関わっており、会場の設営は関係者全員に加えて県域青年部も手伝って行われます。

実技試験対策として7月に行っている実技講習会には指導員が担当し受検生の作業指導に当たりますが、検定試験自体に関わることは出来ません。実技検定試験は検定委員が各級3名ずつ独自に課題を評価・採点し、補佐員が行う寸法計測誤差と併せて判定を行いますので、言うまでも無く個人的

裁量で特定の受検者の合否を決めることは出来ない仕組みになっています。また検定委員及び補佐員はその立場上、講習会のみならず自社で行う事前教育などでも指導することは出来無いことになっています。

「造園技能士を」

この難関を乗り越えて合格した先には様々なメリットがあります。主任技術者として工事現場に携わることが出来たり、職業訓練指導員などの資格試験の受験資格や一部試験免除を受けたりすることが出来ます。公共工事においては競争参加資格に造園技能士が必須となる案件も出てきていますし、個人邸においても技能士の知名度と共に優れた技術の需要は高まっています。何より造園技術を身につけた上で日々の仕事に臨むことで顧客からの信頼を得てより良い仕事をすることが出来ます。

資格取得者の声 1

資格を取得した多くの先輩方が現場で活躍していますが、今回は検定受検の経験やその資格が自分の仕事にどう生かされているかを中心に日本ガーデンデザイン専門学校出身のお二方にお話を聞くことが出来ました。

松本祥夏さん(18期生) 日本ガーデンデザイン専門学校 2年 ガーデンデザインコース
吉田島総合高校3年時に「造園技能士3級」取得
平成30年に2級の造園技能士を取得(当時19歳)

「造園技能士検定2級の体験と将来のこと」
・造園技能士を取得するきっかけ
私が造園技能士3級を取るきっかけになったのは高校時代、バドミントン部の他に草花部と造園部に所属していたことです。お花が好きで将来はブライダルフラワーの仕事が庭師になりたいと思っていました。草花部ではアレンジメントの大会に出場したりしていたので、造園部の方でも何か自分の勉強の幅を広げたいと

てからは実習先の四ツ目垣の作業での結びなどの仕上がりも、前に比べて完成度が高まったと褒められ、自分のスキルが上がったと実感しました。
また、樹木についても関心広がりが、道すがら普段何気なく見ていた木の樹種や開花期などを自分から調べられるようになってきました。興味を持つのはとても大切な事だと改めて感じました。

また2級については、就職にあたって私に今できる事は何かと考え、少しでも就職しやすいように、自分のスキルアップもしたかったので造園技能士2級検定を受けることに決めました。
また2級については、就職にあたっては、就

・受検するにあたっての苦労
実技で猛暑の中での作業は大変でした。2時間半という時間の中で急いで正確に施工することも焦りがあつたのですが、必死に食らいついて達成できたことがとても嬉しかったです。実際の現場のような経験ができたと感じました。
また判断等試験も3級を取得したとはいえ、試験項目の樹種を覚えるのに樹木は、育っている場所により樹形などが違って見えていたので覚えるのは苦労しましたが、これから仕事をしていくうえで役立つことを実感しました。
・資格取得後にどう生かしていきたいか？
造園技能士の資格を取った後は、実技の試験練習で図面をその都度見ながら作業すると時間をロスしてしまうので、私は一日一回は図面を見るようにして頭に叩き込んでいました。そうすることで次の作業のわからないことを見る回数が減りました。時間を短縮するのも大切ですが部分々で一度、見落としを確認していくと良いと思いました。

・今後受検への興味をお持ちの方へ

造園技能士とは、造園工事作業などに必要な知識と技術を持つていることを証明できる国家資格です。造園の歴史や樹木の種類を学ぶきっかけにもなります。ガーデニングや庭園に興味を持つている方、植物を育てるのが好きな人に向く資格だと思えます。現状では造園施工が少なくなっているからこそ、日常的に学ぶ機会が少ないと思うのでこの機会に受検してみたいかがでしょうか。



・女性の方へ

私は暑い中で体を動かす作業に耐えられるのか最初はとて不安でしたが、心で負けずに強い意志を持つて最後までやり遂げることが大切だと思えました。大きな樹木や石材を動かすのは少し大変ですが、体力のある女性や力をつけたい方も挑戦していただけたら私も女性の仲間が増え心強いです。

・最後に

私は造園会社に就職を決

資格取得者の声 2

「造園技能士資格取得に(55)」

齋藤大輔さん(15期生)

株式会社 嵯峨造園土木勤務

日本ガーデニングデザイン専門学校1年次に造園技能士3級を、2年次に2級を取得。就職後3年目の昨夏、1級も取得。

・なぜ技能士を取ろうと思ったのか

私は2年間の造園専門学校に通っていて、卒業後は一般の造園会社に就職しました。そこで先輩方の技術や、造園に対する意識の高さに自分自身の未熟さを知りました。専門学校の前は学校の方針として技能士の2級まで取らせてもらうことが出来ましたが、一人前の立派な職人になりたいという目標があったので、その始まりとして1級造園技能士を取得したいと考えました。

・取得するときの苦労など

園技能士の資格を取り、就職するにあたってこの国家資格は自分の力になるので、その経験を活かし、率先して失敗を恐れず前向きに働いていきます。家庭という字は家と庭があつて家庭です。私は植物の緑や風を感じられる癒しの場合庭だと思えます。造園技能士の資格を取り、家だけだけでなく、庭のスペースの重要性も発信していけたらいいなと考えています。受検を考えている方の参考になればとても幸いです。日本ガーデニングデザイン専門学校 18期生 松本祥夏 (写真は投稿者ではありません)

・取得するときの苦労など

神奈川県造園業協会指導のもと、学科試験対策1日、実技試験対策、判断等試験対策2日の計3日間の講習を受けました。学科試験、判断等試験ともに覚えることは多くて大変でしたが、一番大変だったのは真夏の中での実技試験対策でした。とても暑く、一日中外にいるだけでもつらいのにその中で体を酷使したり、細かいミスをしないように高い集中力を保つのは難しかったです。

実技試験対策の1日目

は、竹垣、躰、植栽など一つ一つの作業を細かく指導してもらい、夕方の頃にやっと完成まで出来るくらいで、本番は制限時間内に終わるのかととても心配になりました。次の作業のことを考えながら、どこに何の道具を置いたら効率がいいのか、移動の回数をいかに減らせるのかなどを試行錯誤しながらやっていくのは実際の仕事と同じだなと

強く感じました。2日目に向けて、帰ってからも凶面の見直し、手順の確認をして準備を進めました。

・合格発表

試験日から約2カ月後に合格発表があり緊張の中確認しました。結果は合格。とてもうれしく、これからさらにいい職人にならなくてはいけないと感じました。実技試験は大変でしたが、判断等試験、学科試験もしっかり対策をして試験に臨むことができたのがこの合格につながったと思います。

・1級造園技能士になつてから

資格を取得してから日々の仕事に対する意識も変わりました。試験でやったことは基礎中の基礎をどれだけ丁寧にこなせるかというものだと思うので、その意識を常にもって作業するようになりまし。掃除ひとつにおいても、これでもいいやではなく、もっときれいにできると考えるようになりまし。資格を取ることですがそれ以上に職人としての心構えや作業レベルの向上につながるのだと思います。一人前の職人にはまだまだなれていませんが、大きな自信につながりました。最近では新しく庭を作ることは少なくなってきましたが、個人のお宅の庭木の手入れや、公園管理などでも一つ一つの作業を丁寧にこなしていくことで

「近年の造園技能検定・合格率とその現況に対する所見」

さらに職人としての腕をあげていきたいです。そして、お客さんや見てくれる人たちに喜んでもらえる仕事をしたい。1級技能士と呼ばれるに値する職人になりたいです。株式会社 嵯峨造園土木 齋藤大輔



昭和48年度から実施されている造園技能検定だが、近年における合格率の低下に愁いを感じ、技能検定補佐員・指導員として30近く携わってきた立場から、所見を述べる。

近年の合格率低下は、いくつかの要因が重なり合うことで生じていると考えている。例えば、(一) 受検資格が緩和されることで、技能経験が十分でない者が試験に臨んでしまふケース。(二) 垣根や石工事を含む、庭園仕事の目減りによる、日常現場での経験不足。(三) 各支部における講習会の講習内容・日数・受講時間不足、近年の技能試験に精通した講師の不足

(四) 技能講習会での研修環境としての不十分要因(研修に適した作業場・試験と同等材料の調達など)(五) 最も基本的なことではあるが、受検者自身の意欲や精進が十分であるか、という心構え。このように、主要因には、技能検定における制度に由来すること、研修場や研修内容、材料・練達した講師の不足などの受検環境に関すること、受検者自身の心構え、社会的影響による造園仕事や需要の変化などがある。



造園技能検定の可否を分かつ基準、すなわち採点に影響するものとして、受検者には主に以下三つの要項について、特に心掛けてほしい。(一) 正確な施工がなされているか(規定の寸法・正しい施工法・仕様誤りがないこと)(二) 設定された時間内に作業を仕上げること(三) 作業態度(施工や受検に対する真摯な姿勢)

造園技能士一級・二級検定においては、上記三つの要項について、それを満たしているか、また出来具合について、三人の検定委員に見定められる。受検者各位が、合格資格を得るためには、それら要項の理解と正しい実践が必要となる。では、まず(一)に関し



て、施工法の留意点について確認していただく。
(ア) 図面仕様の適切な理解・規定通りの正確な施工ができてくるか
(※留意点) 作業は、図面と仕様に従って正確に行うこと。図面だけを見て自分勝手な判断により作業にかかること、各課題の寸法違いや全体の整合が合わないなど、取り返しのつかない誤りに繋がるものが多くある。そのため仕様については、特に良く理解した上で、作業に臨むことが大切である。



2級課題見本



1級課題見本

(イ) 造園技能士の課題は、指定された区画内での作業となり、区画の水糸は水平ではないことを自ら理解し、なるべく平らに整地して、作業に取り掛かること。
(ウ) 技能検定における実技講習会に参加できる場合は、受検課題の見本製作モデル(指導員施工)を参考とすること。また、課題見本の前で指導員が伝える要領・チェックポイントを良く理解すること。加えて、それらを受検の際にしっかりと施工・作業に反映できるように、各個人で反復して練習に努めること。(現状は、受検課題の出来栄えは、およそ六割程度に達していれば、ぎりぎりでも合格可能なはずではあるが、合否は、樹種判断試験の得点も併せて判定されるので、どちらの試験もそれぞれに出来ていないと、現状

の低い合格率を突破することが適わない。) 実技講習会初日では、大半の受講生がシロ縄の結束も出来ず、普段の日常現場における基本的な技術を理解し身に付けていないことが見て取れる。そのことは、現在の低い合格率に繋がっているといえる。
さて、ここからは造園技能検定一級試験課題を例にとりて製作の手順を追いつつ、実技試験において採点基準を満たせなかった施工例について、検討していこう。

(一) 垣根の親柱を垂直に建込み、頂部の切口を水平に切る。
(二) 同時に親柱の下・一胴縁目からGL100の寸法を、築山客土・余分な土量を考慮して、二十〜三十ミリ上げて基準にする。(区画内が水糸よりかなり低い場合は、必要なし。)
※ここでこの基準の取り方を間違えると、仕上がりのレベルが凸凹になり、その後、飛石・延段のチリが取れなくなる。よってよく注意を払うこと。
(三) 間柱は、胴縁の太さに合わせた位置を出し、玉縁がかぶるように、四十〜五十ミリのチリを取る。
(四) 胴縁の割間寸法を正確にして、水平に取り付け(親柱の柱付けは全て節止め)

(五) 杭掛けの結束を行う。(二の字・綾掛けなど、自由で結束)
(六) 山割は左からかきつけ、初めの三枚は末を上にして垂直に施工する。
(七) 押縁は芽残し、玉縁は芽割とし、上から末↓元↓末の節止めに柱に密着して取付ける。
(※玉縁の取付けは、元節止め。押縁が太い場合は、柱が細いため、厚さを薄くそぐ必要がある。
押縁・玉縁の結束は、仕様通りの寸法で切り揃えること。)

以上のように、(一)〜(七)「竹垣製作」の手順を追って、留意点を付記した。近年では、これらの基本的な手順に沿った施工が出来ず、竹垣を製作する時点の評価で、大半の受検者が不合格の判定となってしまうのが実状である。
以上が、造園技能検定一級においての施工手順及び、近年よく見受けられる合格判定の基準に満たない施工事例の参照である。実状を踏まえて、苦言ばかりの記述にならないように、次の、かつて私の記憶に深く印象に残った受検者につ

いての回想を綴ってみた。その受検者は、戸塚区から来ていた三十代前後の小柄な女性である。本人曰く、父親が近所で片手間に庭木の手入れをしているのを見て、庭師を目指したのだという。講習会初日では、一瞥(いちべつ)として心許ない印象を受けたが、不思議と目の輝きと、道具の扱いや手入れの良さに、何か感じるどころがあった。彼女は、追加講習会においては、なかなかの出来栄えに到達していた。しかしながら、その仕上がりは、延長時間三十分を費やすも、未完成であった。理由は、一つ一つの作業が丁寧な中に寸法・仕様・出来栄え・手順、それらを全て描くことができたこと」というものである。このことが身に付いているかどうか、それは合否の分水嶺の一つといえる。

このように、造園技能検定には、合格を目指す際に身に付けることが必要な技能や心構えがある。仮に、幾度か不合格になったとしても、それだけ勉強できた貴重な機会が得られたのだと思えばいい、と私は考える。
本稿で述べた事例や施工手順の要点を参考に、技能検定・合格を目指す道のりにおいては、技能講習会に応募する前にも、受検希望者が出来ることは多くあると、このことを改めて確認し

例え、 「竹垣製作」の手順では、

例えば、「竹垣製作」の手順では、

例えば、「竹垣製作」の手順では、

例えば、「竹垣製作」の手順では、

て欲しい。また、自分自身への問いかけとして、「シユ口縄の結束、柱を水平に切る、竹を割って必要材をつくる、などの基本的な作業は十分に出来ているだろうか」「事前に十分な練習を行って、図面で確認せずとも仕様・寸法・課題について頭に記憶し理解できているだろうか」と胸に手をあて考える大切さを伝えたい。これらの視点をあわせて、造園技能検定・資格取得を目指す各位が、無事に合格を果たし、これからの造園業界を誇りある造園人として牽引していただけることを切に願う。

令和 二年 吉日

一般社団法人 神奈川県造園業協会副会長
庭園部会・情報委員会担当
川田秀一

合否のカギは己の中にある

入学試験や入社試験を受けるときは「受験」と言いますが、検定を受けることは「受検」と表します。この違いは何かといえは、「受験」した者の中から点数の良い上位数名を合格とするのが所謂試験であり、いわば加算法の評価です。大学や企業が定める基準はいつも同じとは限らず、年度や担当する試験官によって判

断基準も採用数も変動します。一方、検定はこれとは違い変動しない一定の基準に基づいて検査し、合格・不合格、等級などを決めるものですので、基準に達していない部分を減点していつて最後に残った点数が合格点に達していれば合格者数や合格率には関係なく等級が与えられます。

入学試験のように年度によって難しい問題が多かったり採用人数が少なかったりということも検定においてはほとんどありません。受検者全員が合格しても何も問題は無いし、逆に受検者のレベルが極端に低い年には合格者がいないということもあり得るのです。

「一定の基準」というのは実技試験でいえばその図面であり、知っている樹木の数です。用意スタートで切った丸太の切り口が水平で無ければその時点で減点が始まり、寸法誤差の減点も年度に関係なく同じ基準で評価され、整地やゴミの始末、作業態度、時間超過による減点も同じ基準で採点されます。また判断等試験において知っている樹木数が半分にも満たなければ製作等作業試験でどんなに出来が良くても実技試験総合としての一定基準に達せず不合格、という現実も毎年変わりません。

つまりどの年度であろうと自分さえ基準に達する技術と知識があれば合格率に関係なく合格できるという

ことであり、逆に言えば受検前において竹割りやいぼ結いなどの基本は言うに及ばず、基準課題をどんな状況でもコンスタントに時間内に完成させる力が無ければ何度受検しても結果は同じであり、自分を高める以外に合格の道は無いということです。

そんな厳しい検定試験ではありませんが、合格を目指す皆さんを当協会でも実技講習会や学科講習会において全力で応援しています。造園技能検定試験及び講習会に関わる人たちは当然同じ試験を過去に受け合格した人の中から選出されています。受検の大変さも実技試験日の辛さも知っていますし、この資格の重要性も解っていますから皆が受検者の味方です。出来ることなら全員に受かって欲しいと願いながら検定に従事しているのです。どうか受検者の皆さんも、心折れることなくチャレンジしてください。

なお、前回の造園技能士実技・学科講習会及び技能検定実技・学科試験については当会報の第265号で取り上げていますのでこちらをご参照ください。(協会のホームページ↓協会・支部だより↓よりバックナンバーが閲覧できます。)

令和2年度造園技能検定のお知らせ

1. 造園技能検定実施日程

実技試験問題公表 令和2年6月1日(月)

*職業能力開発協会でご公表します。受検者には受検票と共に課題(図面)が送付されます。

実技作業試験 令和2年8月1日(土)～8月3日(月)の内のいずれか半日

学科試験・要素テスト [1・2級] 令和2年8月23日(日) [3級] 令和2年7月12日(日)

合格発表 [1・2級] 令和2年10月2日(金) [3級] 令和2年8月28日(金)

2. 受検申請

①申請書記入要領 学歴・最終学歴及び学校の所在地・在学期間

職歴・造園関係のみ事業所名・所在地・電話・在職期間・職務内容

※免除資格のある方は、その資格書類のコピーを添付(免除資格は下記の4の③の通り)

②受検手数料

実技試験・18,200円 / 学科試験・3,100円 / 両免申請・無料

※若者の確保・育成を目的として、35歳未満の方(昭和60年4月2日以降の生年月日の方)が2級又は3級の実技試験を受検する場合に受検手数料が9,000円減額されます。

※一度納金された受検手数料はお返し出来ません。

3. 申請書の受付

受付場所・(一社)神奈川県造園業協会事務局 会議室

受付期間・R2年4月6日(月)～16日(木) 9:00～17:00 土日はお休みです

※最終日は混雑しますので早めの提出をお願い致します。申請には受検者の生年月日・現住所・☎・最終学歴・学校所在地・職歴等・**申請者の身分証明書**が必要となります。事前に申請書を希望される方は郵送代を頂きます。事務局へ連絡の上「申請書取り寄せ申込書」をお取り寄せ下さい。

4. 申込みに必要なもの

①受検手数料 ②顔写真(縦4cm×横3cm)裏面に作業名(造園)、級別、氏名を明記して下さい。実技及び学科受検者2枚、一部合格者1枚、両免申請者不要 ③資格の有る方は証明書のコピー(一部合格、造園技能士コース、職業訓練指導員等)

④運転免許証、健康保険被保険者証等の本人確認書類の写し(縦6cm×横9cm)

5. 実技・学科受検対策講習会等の予定について

※実技講習会1・2・3級は7月18・19日(前半)、20・21日(後半)のいずれか2日間2回に分けて、いずれも横浜農協きた総合センターで実施の予定です。(注)3級のみ要素講習会はありません。

※学科講習会1・2級は8月12日(水)にかながわ労働プラザで実施の予定です。

※受講者の人数等により日時、場所等が変更になることもあります。

[照会先]

横浜市中区常盤町2-10 伸光ビル2階 (一社)神奈川県造園業協会

TEL 045-662-1767 FAX 045-662-4381 URL <http://www.kanagawazoen.or.jp>

